



米国発表報道資料意訳

## アドビシステムズ社、 Adobe Flash Media Server 3.5 を発表

### 双方向リッチメディアの配信における アドビシステムズ社のリーダーシップを拡大する新バージョン

**【2008年11月17日】**

米国サンフランシスコ、ADOBE MAX 2008 発（2008年11月17日）Adobe Systems Incorporated（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、Adobe® Flash® Media Interactive Server 3.5 と Adobe Flash Media Streaming Server 3.5 を発表しました。

両製品は、Web 上での画期的な双方向コンテンツ、アプリケーション、ビデオを配信するためのデファクトスタンダードである Adobe Flash プラットフォームの重要なコンポーネントです。また、ダイナミックストリーミング、H.264 ビデオと High Efficiency AAC（HE-AAC）オーディオのサポート強化、ライブストリーム中の一時停止と検索など、新たなメディア配信向けの新機能を搭載しています。これらの技術革新は、Web を介して配信されるビデオの品質を向上させ、よりリッチな双方向体験をユーザーに提供します。また、両製品は、サンフランシスコで開催されている Adobe MAX で展示、紹介され、リッチメディア分野におけるアドビシステムズ社のリーダーシップを拡大するものです。また、双方向アプリケーションやソーシャルメディアアプリケーションを配信するコンテンツオーナーにこれまでにない機会を提供します。

アドビシステムズ社 ダイナミックメディア部門 バイスプレジデント兼ジェネラル マネージャのジム ジェラルド（Jim Guerard）は、「Adobe Flash プラットフォームは、メディアの世界に常に革新を与えており、コンテンツの配信方法とコンテンツが消費される方法を常に向上させています。視聴者を引き付ける魅力的なユーザー体験は、新たな視聴者を呼び込み、パブリッシャーがその独自のコンテンツによってビジネスを効果的に構築することを支援します。世界中の視聴者は Flash プラットフォームにより、多くのコンテンツをさまざまなブラウザ、OS、モバイル端末で楽しめるようになります」と述べています。

#### オンラインビデオの世界市場シェア 81%

Adobe Flash Media Server ファミリー製品は、クリックしてすぐに再生されるシームレスな視聴体験を可能にし、平均視聴時間を延長することで企業はそのブランド認知を向上させ、コンテンツによって効果的に利益を上げることが可能です。独立系調査会社の comScore によると、Adobe Flash 技術は Web 上で最も普及しているビデオフォーマットとなっており、オンラインビデオの 81% 以上が Flash テクノロジーを使用しています。Adobe Flash Player は、インターネットに接続されたデスクトップの 98% にすでにインストールされているほか、モバイル端末へのインストールも増加中であるため、パブリッシャーはどのプラットフォームにおいても確実にオーディエンスにリーチすることができます。

#### Adobe Flash Media Server ファミリー製品のパフォーマンスを拡大

両製品の新しい特長や新機能には、視聴者の帯域幅に応じてシームレスに品質を調整して

配信するダイナミック ストリーミングや、コンテンツ保護の向上、H.264 コンテンツのライブおよびオンデマンドのストリーミングなどがあります。Adobe Flash Media Rights Management Server によって暗号化されたコンテンツも、包括的なメディア体験を実現する完全なターンキーソリューションとして RTMP と統合 HTTP サーバーを使用し、ストリーム配信することが可能です。また、Adobe Flash Media Interactive Server 3.5 ソフトウェアには、ライブ Digital Video Recorder (DVR) 機能が搭載されており、ライブビデオ ストリーム中の一時停止とシーク (巻き戻しや早送り) のほか、マルチポイントパブリッシング (ライブストリーム中にデータメッセージを挿入等)、Flash Lite 3 へのモバイル配信\* (ライブもしくはオンデマンド) を可能にしています。

\* モバイル配信には Flash Video をサポートした Flash Lite 3 搭載端末が必要です。

### 複数の配信オプション

Flash Media Server 3.5 を使用してメディアを配信するに際しては、お客様が独自にストリーミング サーバー ハードウェアとネットワークを社内に実装できる以外にも、Flash Video Streaming Service (FVSS) パートナーの有力コンテンツ配信ネットワーク (CDN) プロバイダーをご利用いただくことも可能です。FVSS パートナーの詳細については、<http://www.adobe.com/jp/products/flashmediaserver/fvss/> をご覧ください。

Akamai の Digital Media 担当 チーフストラテジストの ティム ナポレオン (Tim Napoleon) 氏は、「アドビ システムズ社は、インターネットに接続された 98% のデスクトップに対してコンテンツオーナーが確実にビデオを配信できるユビキタス ソリューションを提供することで、ストリーミング ビデオ業界をここ数年で変革しました。アドビ システムズ社は、ダイナミック ストリーミング配信や充実した双方向性など業界をリードする技術によって常に革新を起こしています。Adobe Flash Media Server 3.5 は、[www.streamflashhd.com](http://www.streamflashhd.com) を見るとわかるように、私たちの顧客がユーザーに対し、よりリッチで強力な HD ビデオ体験を提供することを可能にします。FVSS プログラムのプレミアムメンバーとして Flash Media Server を最大限に展開している私たちは、今回の新バージョンの持つダイナミックな特徴が、ユーザーの持つ技術力を高め、Flash テクノロジーの発展をより推し進めていくと考えています。」と述べています。

Limelight Networks の製品管理担当バイスプレジデントであるピーター コッポラ (Peter Coppola) 氏は、「ライブビデオストリーム中に一時停止やシークが可能な点など、Adobe Flash Media Server 3.5 の画期的な技術革新によって、コンテンツ プロバイダーは、従来の放送の枠には収まりきらない体験を実現できます。アドビ システムズ社の長年にわたるパートナーである当社は、拡張性の高いコンテンツ配信プラットフォームを通じて、こうした業界をリードする機能を実現し、多くの人々に広く提供できることをうれしく思います」と述べています。

### 価格および提供予定時期について

Adobe Flash Media Server 3.5 は 2008 年 12 月の出荷を予定しており、本日よりアドビ ストアでは予約受付開始をしました。Adobe Flash Media Interactive Server 3.5 の価格は 585,000 円 (税込価格 614,250 円) です。メンテナンスサポートに加入すると、対象期間内のお客様は無償でアップグレードが可能です。メンテナンスサポートに加入していない Flash Media Interactive Server 3 をご利用のお客様は、40,300 円 (税込価格 42,315 円) でアッ

アップグレードが可能です。同様にメンテナンスサポートに加入しておらず、Flash Media Server 2.X をご利用のお客様は、259,400 円（税込価格 272,370 円）でアップグレードが可能です。そのほか、Flash Media Streaming Server からのアップグレード版も提供します。

Adobe Flash Media Streaming Server 3.5 の価格は 115,500 円（税込価格 121,275 円）です。メンテナンスサポートにご加入で対象期間内のお客様は無償でアップグレードが可能なほか、メンテナンスサポート以外のお客様は、28,800 円（税込価格 30,240 円）でアップグレードが可能です。Adobe Flash Media Server の詳細については <http://www.adobe.com/jp/products/flashmediaserver/> をご覧ください。

メディア展開のアウトソーシングを求められるお客様には、特定のコンテンツ配信ネットワーク プロバイダパートナーである Flash Video Streaming Service パートナーのサービスが利用できます。このプログラムの詳細については <http://www.adobe.com/products/flashmediaserver/fvss/> をご覧ください。

#### **アドビ システムズ社について**

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。